



2022年3月31日

各 位

上場会社名	東邦瓦斯株式会社
本社所在地	名古屋市熱田区桜田町19番18号
代表者	代表取締役社長 増田 信之
コード番号	9533
上場取引所	東京・名古屋 第1部
問合せ先	執行役員 企画部長 前田 勉
	TEL 052(872)9319

「東邦ガスグループビジョン」に関するお知らせ

「東邦ガスグループビジョン」について、公表いたしましたのでお知らせいたします。
詳細については、添付資料をご参照ください。

以 上



東邦ガス グループ ビジョン

未来を、一緒に、ずっと豊かに。

未来を、一緒に、ずっと豊かに。

未来はひとりでは創れない。

未来はひとりのものではない。

みんなで一緒に。豊かさとともに。

このまちの、地域の、社会の未来が、

今日よりももっと、

素晴らしいものであり続けるように。

目次

01	トップメッセージ	．．．．．	3
02	これまで100年の歩みと培った強み	．．．．．	4
03	2050年の社会像	．．．．．	5
04	2050年の社会において果たす役割	．．．．．	6
05	2030年代半ばに目指す姿	．．．．．	8
06	目指す姿の実現に向けた取組みの方向性	．．．．．	9
07	事業ポートフォリオの変革	．．．．．	13
08	全社一丸となった挑戦	．．．．．	14

01 トップメッセージ



代表取締役社長

増田信之

東邦ガスは、本年6月に創立100周年を迎えます。

初代社長の岡本桜は、お客さま・株主さま・従業員を三位一体とし、公共奉仕を目指すことを掲げました。この創業の精神は、当社グループの大切なDNAとして受け継がれ、事業活動を通じて地域の発展に貢献してまいりました。長きにわたり当社グループを支えていただいたお客さま、株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに、厚くお礼申し上げます。

現在、2050年カーボンニュートラル実現に向けた動きやコロナ禍を契機とした急速なデジタルシフトなど、取り巻く環境はかつてないほど変化しています。加えて、当社グループでは、導管部門の分社化という大きな体制変更があり、時代の大きな変曲点にあります。

そうした中、当社グループの社員が共通認識に立ち、新たな時代を切り拓けるよう2050年の社会像を思い描くとともに、中間地点となる2030年代半ばに目指す姿とその実現に向けた取組みの方向性を、新たなビジョンとして策定しました。

ビジョンの達成に向けては、これまでの延長ではない新たな取組みに挑戦し、事業構造を変革していかねばなりません。決して容易なことではありませんが、これまでさまざまな環境変化に総力を結集し立ち向かってきたように、今後も私自身が先頭に立ち、全社一丸となった挑戦を牽引することで、次の100年も地域とともに発展する企業グループへと進化していきます。

皆さまには、引き続きのご支援・ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

02 これまで100年の歩みと培った強み

創業の精神を礎に、全社一丸となって幾多の挑戦を重ね、地域とともに成長する中で、
当社グループの強みを培ってまいりました。

これまで100年の歩み

環境変化 への対応

- 都市ガスの原料転換
(石炭 → 石油 → 天然ガス)
- 都市ガスの利用用途拡大
- LPG事業、電気事業の立ち上げ



快適な暮らし の実現、 ものづくりの 発展への貢献

- 省エネ・高効率な機器、暮らしを快適にする機器の開発
- 使用実態に合わせた最適提案
- 供給エリア・拠点網の拡大



安全・安心、 安定供給の実現、 災害への対応

- 都市ガス製造設備・供給設備の耐震化、安定供給のための設備増強・ソフト対策
- 伊勢湾台風、東海豪雨などの地域の災害対応、全国各地の災害への復旧応援



100年の事業運営で培った強み

多様なエネルギーの提供、
安定供給を支える体制、
技術開発・ソリューション対応

地域における事業基盤、
お客さま接点、
地域やお客さまからの信頼

地域を支えることを
使命とする組織風土・人材

カーボンニュートラルの実現を目指す2050年の社会像を思い描きました。

変革ドライバー

エネルギーを取り巻く
“5つのD”

De-carbonization
脱炭素化

Depopulation
人口減少・過疎化

De-centrization
分散化

Deregulation
制度改革

Digitalization
デジタル化

社会全体の変革ドライバー

サステナビリティに
対する要請の高まり

2050年の社会像

エネルギー

- カーボンニュートラルなエネルギーが広く安定的に利用されている
- 個人を含む双方向融通や地産地消によりエネルギー需給が最適化されている

くらし・サービス

- デジタルサービスやラストワンマイルサービスにより多様なニーズが満たされている
- 個人と企業の共創により新たなサービスが創出されている

ビジネス・産業

- データの相互利活用や技術革新により業界の垣根を超えたイノベーションが生み出されている
- 労働人口減少をAI・ロボット等が補完している

地域・自治体

- 行政サービスやインフラ維持に民間ノウハウが積極的に活用されている
- 地域の特色や歴史を活かしたまち、先進的なまちが人や企業を呼び込んでいる

企業のあり方

- サステナビリティへの企業姿勢がステークホルダーからの共感や支持を集めている
- 人々が個性を認め合い、多様性を力とした事業運営が展開されている

2050年において、当社グループは、くらし・ビジネス・地域の多様なニーズや課題と向き合い、カーボンニュートラルをはじめとした持続可能な社会に貢献します。

2050年の社会において当社グループが果たす役割

- エネルギーの領域では、**ガス**（都市ガス・LPG）・**水素**・**電気**の3つのエネルギーを軸としたクリーンなエネルギーを安定的に供給し、お客さま先を含むサプライチェーン全体でカーボンニュートラルを実現
- エネルギー以外の領域では、お客さまとの接点を更に強化するとともに、新たな価値の共創に取り組み、くらし・ビジネス・地域における豊かさを実現

3つのエネルギーを通じて果たす役割

ガス

カーボンリサイクル^{※1}やメタネーション等^{※2}の技術を確認し、脱炭素化したガスを供給

水素

製造・調達、供給および利用（需要創出）までを一貫して手掛け、水素を普及拡大

電気

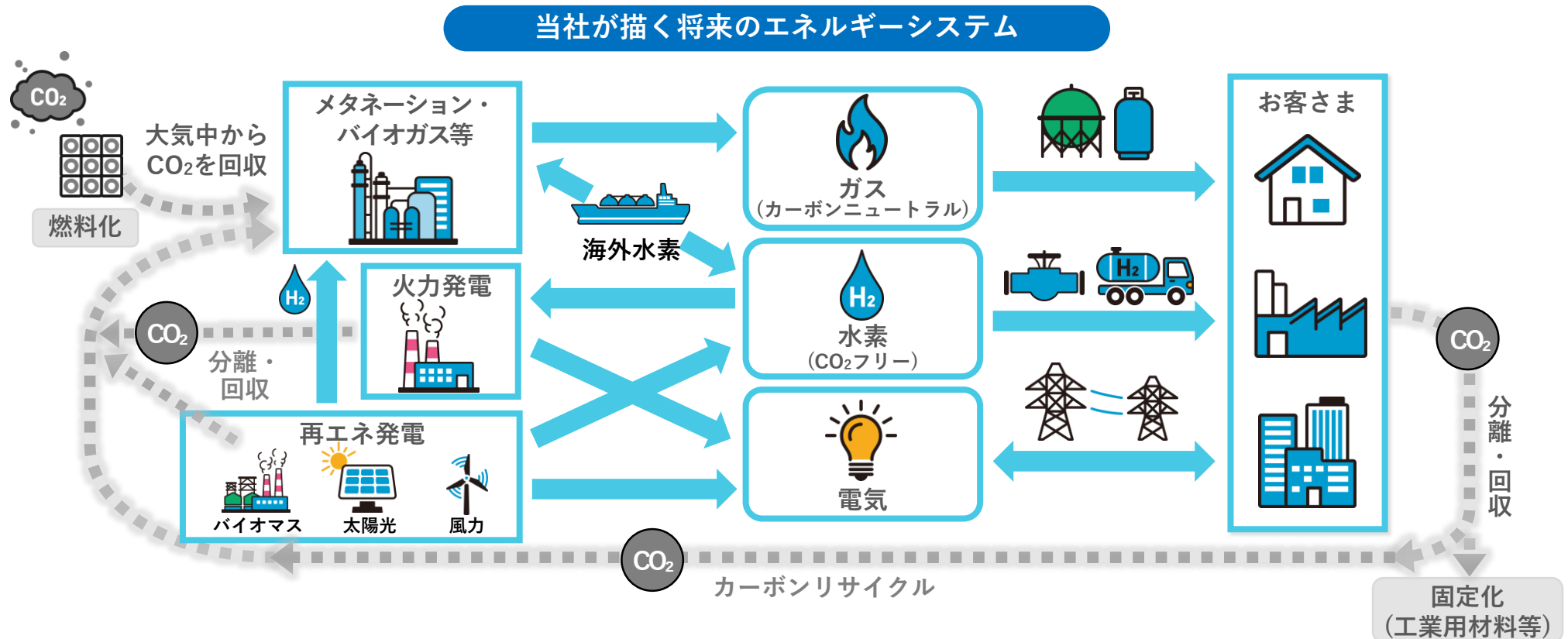
多様な再エネ電源の組合せや分散型リソースの最適利用により、電源の脱炭素化・安定化を実現

※1 CO₂の分離・回収・利用・貯留等の幅広い取組み

※2 水素とCO₂を利用してメタンやプロパン等を生成する技術

(参考) 当社が描く将来のエネルギーシステム

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、関係する皆さまとの幅広い連携のもとで、ガス(都市ガス・LPG)・水素・電気を軸としたエネルギーシステムの構築を目指します。



05 2030年代半ばに目指す姿

当社グループが2050年の中間地点である2030年代半ばに目指す姿です。
この目指す姿には、エネルギー事業者として進化することに加え、エネルギー以外の領域でも皆さまのお役に立ち、持続可能な社会の実現をリードするという想いを込めています。

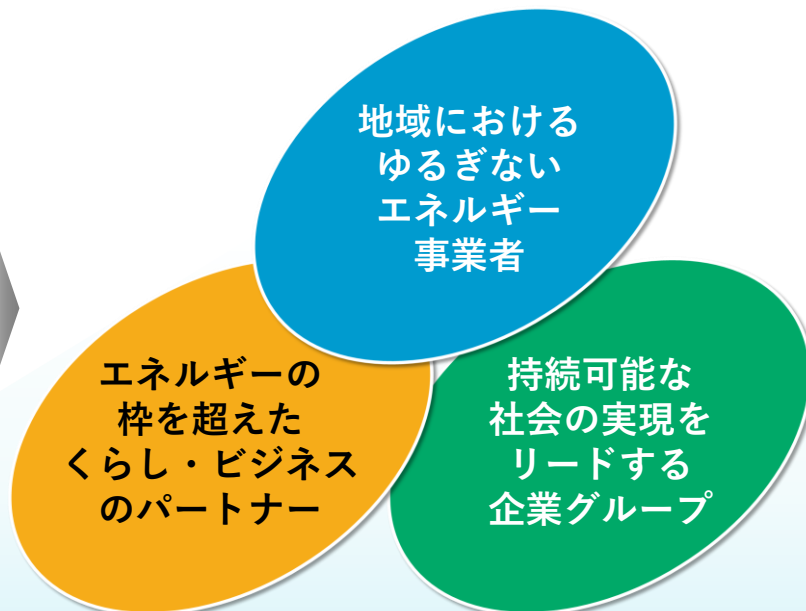
100年の事業運営で培った強み

多様なエネルギーの提供、
安定供給を支える体制、
技術開発・ソリューション対応

地域における事業基盤、
お客さま接点、
地域やお客さまからの信頼

地域を支えることを
使命とする組織風土・人材

2030年代半ばに目指す姿



2050年に果たす役割

くらし・ビジネス・地域の
多様なニーズや
課題と向き合い、
持続可能な社会に貢献

- ・カーボンニュートラルを実現
- ・くらし・ビジネス・地域における豊かさを実現

企業理念（基本理念）

東邦ガスは、グループ各社とともに、人々との信頼のきずなを大切にし、
うるおいと感動のあるくらしの創造と魅力にあふれ、いきいきとした社会の実現に寄与します。

06 目指す姿の実現に向けた取組みの方向性

2030年代半ばに目指す姿を実現するため、3つの取組みを推進します。



取組みの方向性①

エネルギー事業者としての進化

～多様なエネルギーを、より多くのお客さまへ～

これまで大きな環境変化に全社一丸となって対応してきたように、カーボンニュートラルへの移行に取り組み、多様なエネルギーを持つ強みを活かしてシェアを拡大します。

多様なエネルギーの提供

ガス（都市ガス・LPG）に電気、水素も加えて、足元からの低・脱炭素化と、多様な手段の社会実装に取り組み、スムーズなカーボンニュートラル移行を推進

ガス

- ・低・脱炭素化に向けた燃料転換等を推進
- ・ガス自体の脱炭素化技術を開発・実装

水素

- ・地域における水素サプライチェーンを構築
- ・モビリティや熱分野等の水素需要を創出

電気

- ・多様な再エネ電源を開発
- ・分散型リソースを束ね供給力を提供するシステムを構築

エネルギーシェアの拡大

お客さまのニーズや機器・設備の利用状況等に合わせ、多様なエネルギーを最適な形でお届け

安全・安心

エネルギー事業者の
責務を全う

安定供給

地域におけるエネルギーシェア拡大に加え、
活動エリア・関連ビジネスを広げていく

取組みの方向性②

多様な価値の創造

～くらしやビジネスに、より良い今と未来を～

エネルギーとサービスのセット提案やエネルギー以外での価値提供を拡大し、くらしやビジネスの「今」のお困りごとの解消や、より良い「未来」の実現に貢献します。

価値創造の源泉

リアル接点
地域に点在する販売
チャネル等の拠点

デジタル接点
サービスプラット
フォーム、ECサイト

**他業種・
お客さまとの
共創**

保有ノウハウ
エンジニアリング・
O & M※等の知見

技術開発
カーボンニュートラル
に資する技術

※ オペレーション&メンテナンス

くらし分野の価値創造

B to C

住

食

健康・介護

エネルギー
サービス

ライフスタイルやライフステージに合わせた多様な価値を創造し、豊かさを感じられる生活を実現

ビジネス分野の価値創造

B to B

エンジニア
リング

企業のカーボン
ニュートラル支援

ビジネスサポート
(集客・効率化支援等)

お客さまのカーボンニュートラル実現を支援するなど、ビジネス上のさまざまな課題解決に貢献

取組みの方向性③

社会課題解決の推進

～SDGs達成への貢献、さらにその先も続く未来へ～

地域を支えることを使命とする組織・人材の力をより一層発揮し、これからの地域に求められる課題を解決することで、SDGs達成へ貢献し地域とともに発展します。

社会課題解決の進め方・貢献する分野

取り組むべき課題の発見

地域との対話を深め、地域特有の社会課題・ニーズを把握

地域を支えることを
使命とする組織・人材

課題解決策の具体化・実行

保有資産・ノウハウ等を活かしつつ
当社グループならではの課題解決を推進

地域の
レジリエンス向上

クリーンでスマート
なまちづくり

自治体のカーボン
ニュートラル支援

地域の
にぎわいの創出

資源循環の推進

持続可能で豊かな社会の実現へ

地域

共に発展

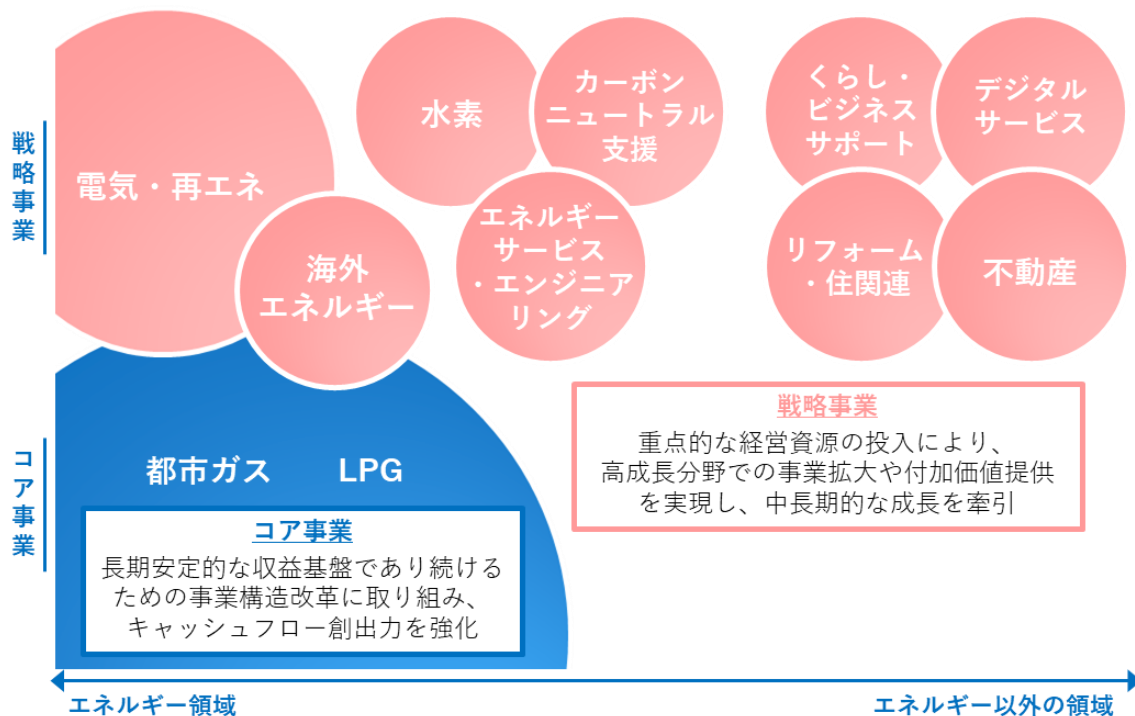
当社

企業自体のサステナビリティ向上へ
(社員エンゲージメント向上、会社の魅力向上)

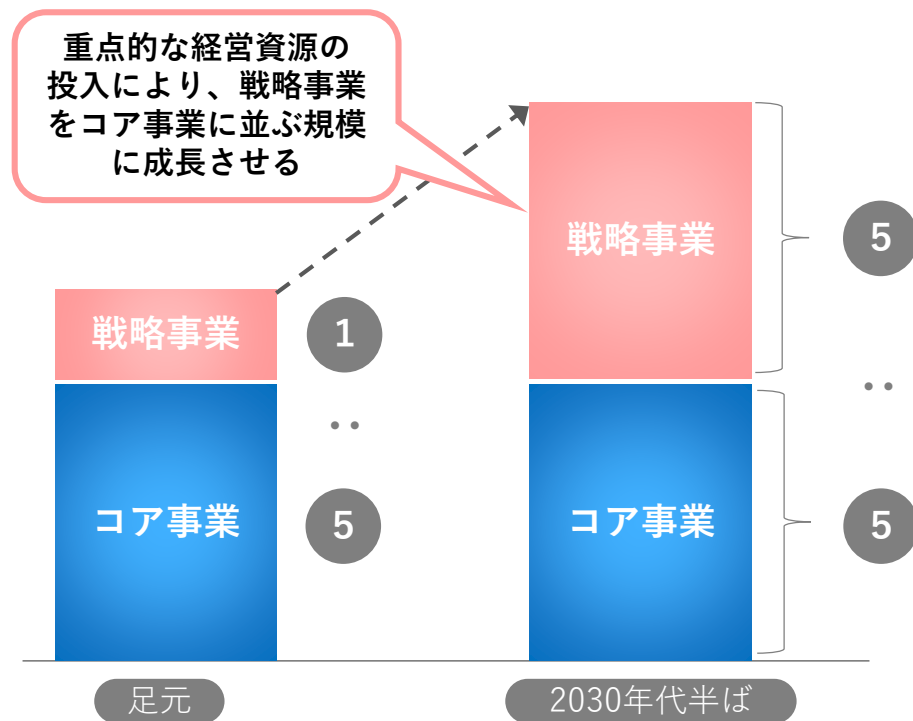
07 事業ポートフォリオの変革

コア事業である都市ガス・LPG事業を収益基盤とし、戦略事業への重点的な経営資源の投入を進め、2030年代半ばには、グループ全体の事業規模を1.5倍以上に拡大します。持続的な成長を実現し、お客さま・株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの期待にお応えしていきます。

2030年代半ばの事業ポートフォリオイメージ



事業規模の拡大イメージ



08 全社一丸となった挑戦

会社は、社員の挑戦を後押しするため人材への投資を拡充するとともに、パフォーマンスを最大限発揮できる環境を整備します。
社員は、ビジョンの実現に向け果敢に挑戦します。

会社

挑戦機会を拡充し
挑戦意欲・行動を促進する

仕事と生活が両立・充実するよう
働きやすい環境を整備する

人材の多様性を確保し
強みや個性の発揮・活躍を支援する

社員が長期にわたって活躍できるよう
健康支援、安心快適な職場づくりを行う

組織と個人
の成長



社員

より高い目標を設定し
失敗を恐れず挑戦する

仕事と生活が両立・充実するよう
生産性高く働く

メンバーの多様な考えや背景を尊重し
協力して最適解を見出す

自身と家族の健康に努めながら
高いパフォーマンスを発揮し続ける



本資料における将来の見通し等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した
予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績等は、
さまざまな要因により、これらとは異なることがありますことをご承知おきください。